

平成31年1月29日

所 属 長 殿

学 長 細 井 美 彦
(所管 学術研究支援部)

粗悪学術誌に対する方針について (通知)

本学では、研究・教育面でのグローバル化の推進に取り組んでおりますが、研究面においては国際的な共同研究を奨励し、国際ジャーナルへの投稿支援事業を開始したところですが、

しかしながら、最近のマスコミ報道等でも既にご承知おきの方も多々おられるものと推察しますが、オープン・アクセス・ジャーナルの中で、論文掲載が研究者の業績になることに付け込んだ、掲載料を搾取することを目的とし査読が不十分な論文を掲載する粗悪学術誌（いわゆるハゲタカジャーナル）が急増し問題となっており、文部科学大臣からも平成30年12月25日の記者発表において「大変深刻な事態となっている」との見解が示され「研究者が論文の投稿先を慎重に検討するよう大学に注意喚起を求める」旨の発言がなされています。

つきましては、本学規程に定める「研究者の行動規範」から鑑みても粗悪学術誌への投稿は大学としての信頼を失うだけでなく、研究者の業績や評価などに悪影響を及ぼす可能性があることから、今後、本学関係者によるそのような粗悪学術誌への投稿は、厳に慎み行わないよう、貴所属内において、恒常的に啓発・周知徹底いただくとともに、その財源が公的資金・私的資金を問わず別添のとおり、取扱いいただきますよう、通知します。

以 上

論文投稿の際は、粗悪学術誌（ハゲタカジャーナル） に注意してください。

近年、オープンアクセスジャーナルの中には、論文掲載が研究者の業績になることに付け込んだ、掲載料を搾取することを目的とし査読が不十分な論文を掲載する粗悪学術誌（いわゆるハゲタカジャーナル）が急増し、深刻な事態となっています。これらの出版社は、研究者に直接メールで投稿を促すというケースもあるようです。論文の投稿先を検討する際のお役立ちサイトとして下記を参考にし、論文投稿先は慎重に選択してください。

○ 粗悪学術誌（ハゲタカジャーナル）の特徴

- 複数の他分野の学会を合同で開催する。
- ジャーナルのウェブサイト、オフィスの住所等が記載されていない。
- 編集責任者が明確でない。
- 論文投稿から極めて短期で査読が完了し、掲載が了承される。
- 論文掲載費が安価 または 明示されていない。
- 研究不正や利益相反についての方針が明記されていない。

○ 参照ホームページ

健全なジャーナルをまとめた下記のチェックリスト、ホワイトリストを参照してください。

【チェックリスト】

Think Check Submit <https://thinkchecksubmit.org/>

【ホワイトリスト】

DOAJ (Directory of Open Access Journals) <https://doaj.org/>
 Quality Open Access Market (QOAM) <http://www.qoam.eu/journals/>
 Web of Science <http://mjl.clarivate.com/>

○ 参考文献・資料

オープンアクセスハンドブック 第2版
 東京大学附属図書館 (H29.3)

信頼できるオープンアクセス論文/ジャーナルのを見つけ方
 クラリベイト・アナリティクス (H30.9)

○ お問い合わせ先

研究費制度運営委員会
 事務局・学術研究支援部 松本、鐘ヶ江、樺木
 (TEL 06-4307-3032 内 2294,2243,2242)